

平成 30 年度第 2 回新宮町地域づくり協議会議事概要

- 1 会議名 平成 30 年度第 2 回新宮町地域づくり協議会
- 2 日 時 平成 31 年 2 月 14 日 (木) 午後 2 時 00 分～3 時 00 分
- 3 会 場 新宮公民館 2 階視聴覚室
- 4 出席者  
委 員 委員長 後藤光雄 副委員長 高橋厚徳 委員 脇斗志也 三鍋一俊  
出水武美 石川 泰 藤原清子 窪田道子 内田 正 新木博久  
小笠ます子 大西綾夫 三鍋公一郎  
理事者 篠原市長 政策部長 建設課長 農林水産課長 農業振興課長  
観光交通課長 給水整備課長 政策推進課長 地域振興課長  
生涯学習課 2 名 教育総務課 1 名 学校教育課 1 名 建設課 1 名  
農林水産課 1 名 観光交通課 1 名 給水整備課 1 名 政策推進課 1 名  
安全危機管理課 1 名  
事務局 地域振興課 2 名
- 5 欠席者  
委 員 石川 宏、 鈴木 舞
- 6 傍聴者 なし

協 議 事 項 等

- 1 会議次第
  - (1) 開会
  - (2) 委員長あいさつ
  - (3) 市長あいさつ
  - (4) 議事
    - ①平成 30 年度事業実績について
    - ②平成 31 年度事業予定について
    - ③その他
  - (5) 閉会
- 2 会議概要
  - (1) 開会
  - (2) 委員長あいさつ
  - (3) 市長挨拶
  - (4) 議事
    - ① 平成 30 年度事業実績について  
〈各担当課より説明〉  
主な意見

委員：昨年の豪雨災害で、木風線も被害を受けたがその後の復旧工事の進み具合はどうなっているのか教えてほしい。

〈建設課より説明〉

理事者 昨年の豪雨で新宮地区で大小170箇所の被害があった。規模の小さい箇所は復旧完了している箇所もあるが、木風萩野線を含めて国の査定を受けて災害の復旧を進めなければならない大規模な箇所が新宮地区に8箇所ある。県南予地区の被害が大きく国の査定も思うように進んでいないため、木風萩野線についてもまだ査定を受けられていない。31年度の対策として取り組むこととなっている。

委員 部落の主要道なので、早期の復旧をお願いしたい。

② 平成31年度予定事業について

〈各担当課より説明〉

委員 吉野瀬線の復旧工事について、現在距離にして2kmほど、時間にして10分ほど迂回しなければならないが、市道の崩壊が県の道路工事の影響で谷に水が入らずに前後に外れたため、この結果を招いたのではないかと思う。谷が崩れており、最終的に流末をどうするのか確認したい。

理事者 吉野瀬線の状況だが、国の査定は終り、2月に入札の予定である。水の件ですが319号線の拡張工事の関係で工事途中ということもあり、水が思いもよらない方向に流れたことも一つの要因ではと考えられる。愛媛県には工事の完成形で排水がどこに排水されるのかも確認してご返事したい。

③ その他

委員 県道川之江大豊線の持田で道路災害があったが、現状はどうか。また発注していたらいつ頃完成するのか、県に聞いてもらえたら。

馬立川の河床が上流の崩壊で3~4mほど上がっているのだが、県は現況を把握しているか。大水が出たら越水するのか心配なため、県に現況を説明してほしい。

新宮ではAMラジオが入らない。AMラジオが家で聞こえるようにならないか。危機管理上、避難勧告や避難指示を家の中で聞こえるように検討して頂きたい。

委員 馬立川だけでなくこの河川も上がってきている。川の調査を全体的に行ってほしい。

理事者 川之江大豊線の件は、県土木事務所によれば4か所の被災箇所があり、1箇所ずつ実施していく。完成は平成32年度末の予定とのことである。馬立川の件については県に調査検討するのか聞いてご返事する。

- 理事者 AM ラジオの件は、把握していないため、調査する。  
現在有線告知システムやメール配信で避難勧告、避難指示をお知らせしている。
- 委員 木嵐地区の道路の舗装が悪い。簡易な補修は行ってくれるのだが、全面的な補修はできないか。
- 理事者 市内に 1,000 キロ以上の市道があり、交通量を勘案して痛みのひどい箇所を中心に、計画的に補修を行っている。全ての道路を全面改修するのは難しい
- 委員 昨年の地域づくり協議会で申し上げた三ツ足山の鉱物について調査をお願いしたい。
- 理事者 もう一度確認してご回答する。